

2023 年度支援事業（ビジネスプランコンテスト）選考結果総評

2023 年度の支援事業（ビジネスプランコンテスト）を募集したところ、多くの方から多様なビジネスアイデア・ビジネスプランの応募をいただきました。当財団で選考した結果、課題提起・付加価値創造コース（アイデア募集）で 8 件、課題解決・事業化マッチングコース（プラン募集）で 1 件の応募を採択いたしました。

課題提起・付加価値創造コース（アイデア募集）への応募は、それぞれ多様な価値観に基づいたアイデアであるということを尊重しようという方針のもとに審査を行いました。そのため、当財団の助成・支援選考委員の評価点の合計だけでなく、たとえある選考委員の評価が低かったとしても、強く推薦する選考委員がいるアイデアは採択する方向で選考を進めました。ただし、本支援事業が意図する水・地域との関わりをもつかどうかについては配慮させていただいております。また、アイデア募集ですから、すでに実績があるような提案は採択には至りませんでした。

採択されたアイデアは、地域の水の多様な価値を発見し、伝え、楽しみ、活かすということにつながる可能性、さらに、関係する人の輪が広がる可能性が感じられるものでした。採択された応募案件 8 件の多くは、個人、小グループからのものでした。なかには、実施するにあたっての課題が少なくないと感じさせるものもありますが、いずれの採択案件につきましても、発展・展開される際に当財団とのコンタクトをいただければと存じます。

課題解決・事業化マッチングコース（プラン募集）への応募は、最終的に 4 件のプランが残りました。当財団の助成・支援選考委員会において 4 件を審査した結果、「犬丸梅苑」の『名水「野田の清水」復活による地方創生』を選出することとしました。

選出の経過については、当財団の設立趣旨に照らしつつ、事業の背景と目的、事業計画、事業の実施可能性の三つの指標を軸に選定にあたった結果、三つの指標がバランス良く満たされている、との理由から上記のプランを採択しました。今後、このプランが実現され、水と地域の課題解決につながることを期待しています。

来年度以降も本支援事業を継続し、以上の審査方針で臨んでいきたい所存です。水と地域に関して事業化につながる斬新なビジネスアイデア・ビジネスプランの応募をお待ちしております。